No.128

2011 1

學院だより

きもの装道部のステージ

ビンゴ大会ステージ

模擬店の様子

○東京家政学院大学　KVA 祭（１１月１３日、１４日）

目次

○学校法人東京家政学院 …… １P
○入試日程 …… ２P
○東京家政学院大学・短期大学 …… ３～５P
○大江文庫紹介 …… ６P
○筑波学院大学 …… ７～８P
○東京家政学院中学校・高等学校 …… ９～１０P
○社会のなかで、研究室紹介 …… １１P

発行　学校法人　東京家政学院
〒102-8341 東京都千代田区三番町 22番地
Tel.　03-3262-2251（代表）　Fax.　03-3262-2174

平成23年度入試日程　東京家政学院大学・大学院

※詳細はHP,入試要項等をご確認下さい。

1．一般入試

	大　学　院	東京家政学院大学・現代生活学部
	人間生活学研究科	現代家政学科 健康栄養学科（C日程を除く） 生活デザイン学科 児童学科 人間福祉学科
出願期間	（4月入学・後期） 平成23年1月28日（金）～ 2月4日（金） （9月入学） 平成23年7月 1日（金）～ 7月8日（金）	（S日程）平成23年 1月 6日（木）～ 1月14日（金） （A日程）郵送受付：平成23年 1月 6日（木）～ 1月19日（水） 窓口受付：平成23年1月20日（木） （B日程）郵送受付：平成23年1月21日（金）～ 2月 7日（月） 窓口受付：平成23年2月 8日（火） （C日程）郵送受付：平成23年2月23日（水）～ 3月 7日（月） 窓口受付：平成23年3月 8日（火）
試験日	（4月入学・後期） 平成23年 2月14日（月） （9月入学） 平成23年 7月20日（水）	（S日程）平成23年 1月22日（土） （A日程）平成23年 2月 1日（火）、3日（木）のうち1日又は両日 （B日程）平成23年 2月16日（水） （C日程）平成23年 3月16日（水）
試験場	町田キャンパス	（S日程）東京1（町田キャンパス）・東京2（ｱﾙｶﾃﾞｨｱ市ヶ谷）・仙台・新潟・宇都宮・甲府・長野・静岡・那覇 （A・B日程）町田キャンパス・学外会場（アルカディア市ヶ谷） （C日程）町田キャンパス
合格発表	（4月入学・後期） 平成23年 2月19日（土） （9月入学） 平成23年 7月23日（土）	（S日程）平成23年 1月26日（水） （A日程）平成23年 2月 4日（金） （B日程）平成23年 2月17日（木） （C日程）平成23年 3月17日（木）

2．募集人員

入試方法＼区分		大学院 人間生活学研究科 生活文化専攻	東京家政学院大学・現代生活学部 現代家政学科	健康栄養学科	生活デザイン学科	児童学科	人間福祉学科
一般入試	S日程	4月入学生（前期・後期）・9月入学生、合わせて10名	10	10	10	6	10
	A日程		15	25	20	13	15
	B日程		3	8	5	3	5
	C日程		2	−	2	2	2
センター試験利用入試	A日程		5	9	5	3	5
	B日程		3	4	3	1	2
	C日程		2	1	2	1	2
計		10	40	57	47	29	41

3．センター試験利用入試

区分	東京家政学院大学・現代生活学部
	現代家政学科 健康栄養学科 生活デザイン学科 児童学科 人間福祉学科
出願期間	（A日程）郵送受付 平成23年 1月17日（月）～ 2月 4日（金） 窓口受付　平成23年2月7日（月） （B日程）郵送受付 平成23年 1月31日（月）～ 2月10日（木） 窓口受付　平成23年2月14日（月） （C日程）郵送受付 平成23年 3月 7日（月）～ 3月18日（金） 窓口受付　平成23年3月22日（火）
試験日（センター試験）	平成23年1月15日（土）、16日（日）
合格発表	（A日程）平成23年2月10日（木） （B日程）平成23年2月17日（木） （C日程）平成23年3月24日（木）

4．東京家政学院大学　オープンキャンパス日程

町田校舎　　オープンキャンパス

開催日	曜日	時間
2011/3/27	日	10:00～16:00

千代田三番町 オープンキャンパス

開催日	曜日	時間
2011/3/27	日	10:00～16:00

○お問い合わせ先
東京家政学院大学・大学院
〒194-0292
東京都町田市相原町2600番地
入試広報課
TEL　042-782-9411

平成23年度入試日程　筑波学院大学

○経営情報学部

入試区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表	募集人員
一般入試A日程	平成23年1月17日（月）～ 1月26日（水）	平成23年2月5日（土）	平成23年2月10日（木）	40名
一般入試B日程	平成23年2月14日（月）～ 2月23日（水）	平成23年3月5日（土）	平成23年3月10日（木）	20名
AO入試5期	平成23年2月28日（月）～ 3月11日（金）	平成23年3月17日（木）	平成23年3月23日（水）	1期～5期まで60名
外国人留学生入試	平成23年1月11日（火）～ 1月20日（木）	平成23年2月11日（金･祝）	平成23年2月17日（木）	若干名
社会人入試	平成23年1月11日（火）～ 1月20日（木）	平成23年2月11日（金･祝）	平成23年2月17日（木）	若干名

■編入学試験

入試区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表	募集人員
外国人留学生2年次	平成23年1月11日（火）～ 1月20日（木）	平成23年2月11日（金･祝）	平成23年2月17日（木）	若干名

○情報コミュニケーション学部

■編入学試験

入試区分	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表	募集人員
外国人留学生3年次	平成23年1月11日（火）～ 1月20日（木）	平成23年2月11日（金･祝）	平成23年2月17日（木）	若干名

オープンキャンパス日程

開催日	曜日	時間
平成23年2月27日	日	10:30～13:00
平成23年3月27日	日	10:30～13:00

○お問い合わせ先
筑波学院大学
〒305－0031
茨城県つくば市吾妻3－1
入試・広報課
TEL　029-858-4815

東京家政学院大学
千代田三番町校舎エントランス完成予定図

学校法人 東京家政学院

Knowledge
Virtue
Art

知識を高める
徳性を養う
技術を磨く

学校法人東京家政学院
〒102-8341
東京都千代田区三番町22番地
（代表電話番号）03-3262-2251

URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/houjin/

年頭所感

KVAルネサンスをさらに推し進めよう！

学校法人東京家政学院
理事長　山口孝

新年おめでとうございます。

本学院では、千代田三番町キャンパスのリニューアルが2月末に完成し、4月から、現代家政学科と健康栄養学科がここに移転し、東京家政学院大学は2キャンパス制になります。新しく「大江スミ記念三番町図書館」とカフェテラス「ローズホール」が1号館に開設され、KVA会館も装いを改めます。千代田三番町キャンパスは、「町田」、「筑波」、「高校・中学」、同窓会等の誰もが利用できる学院のセンターとなります。

平成23年度は、経営改善5カ年計画の2年目に当たります。これに、学院をあげて取り組んでおり、東京家政学院大学では定員が充足され、筑波学院大学、高校・中学も昨年度を上回る学生・生徒を迎え入れることができる見込みです。このような明るい展望が期待される状況の下に新年を迎えることができましたのは、KVAルネサンスの精神を生かした新鮮なビジョンの下で、同窓会、教職員が一体となって努力いただいた成果であります。

しかし、私たちが決して忘れてはならないことがあります。私たちの学院に様々な希望を持った学生・生徒が入学しています。教職員は、これらの皆さんの期待を決して裏切ってはならないということです。この目に見えない学院（invisible school）を担う教職員の皆さんに対して心を尽くしてのご指導をお願いしたいのであります。

平成23年度以降も、少子化、経済状況が継続するなど、学校を取り巻く環境の一層の悪化が懸念されます。こうした中での5カ年計画の達成は、決して容易であるとは思っておりません。学院の維持発展のため、同窓の皆様、教職員の皆様、全力を尽くそうではありませんか。

これをもって、年頭のご挨拶といたします。

東京家政学院創立９０周年記念募金

東京家政学院創立９０周年記念募金の趣旨にご賛同戴き、平成22年7月末より多数の皆様方からご寄付を頂いております。

既にご寄付を賜りました皆様には、ここに重ねてお礼申し上げます。引き続き皆様方のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

なお、法人、団体等からのご寄付については、次号からご報告の予定です。

【東京家政学院創立90周年記念募金入金状況】

（平成22年12月20日現在）

	［寄付者数］	〔寄付金額〕
個人：	1,061 名	29,187,262 円

＜お問合せ先＞
学校法人　東京家政学院
募金事務局　TEL：０３-３２６２－２２４２
E-mail：bokin@kasei-gakuin.ac.jp

東京家政学院大学
TOKYO KASEI-GAKUIN UNIVERSITY

町田キャンパス
〒194-0292　東京都町田市相原町 2600 番地
TEL：042-782-9811（代）

千代田三番町キャンパス
〒102-8341　東京都千代田区三番町 22 番地
TEL：03-3262-2251（代）

URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/

アウトレットパークでファッションショー開催

10月24日（日）、東京家政学院大学のファッションショーが、昨年に引き続き三井アウトレットパーク多摩南大沢の400組を超える家族連れの前で喝采を受けました。

毎年の卒業制作発表会に加えて、4年連続で八王子学生天国の目玉として多くの方々に楽しんでいただいている本学のファッションショーですが、今回は特に「生活デザイン学科」開設記念および三井アウトレットパーク多摩南大沢10周年記念を祝して、「Anniversary ～祝・記念パーティー～」というテーマで展開、一番の心配の〝お天気〟もなんとか持ちこたえてくれて大成功でした。

「衣」領域の卒業制作の作品からは色鮮やかなバレエの衣装やスイーツをイメージしたドレスなどが登場し、この喜び溢れる記念の祝宴が華やかに繰り広げられました。衣装デザイン・制作、ショーの構成・演出・運営、さらにモデルにいたるまですべて本学の学生による手作り。伝統と実績のある東京家政学院大学のあらたなメッセージとなりました。

昨年のファッションショーに感激して直後のAO入試で入学を果たした生活デザイン学科1年生が今年はモデルで登場というううれしいエピソードが花を添えました。

▽会場の広場もステージを見下ろす回廊も一杯。

▷1回目の公演を終えて、応援に駆けつけてくださった天野学長を囲んで記念撮影。ほっと一息の一瞬です。

オープンキャンパス報告

平成22年度のオープンキャンパスは11月13日・14日のOC（KVA祭同時開催）をもって無事に終了し、年間総来場者は昨年度の22％増の2,391名となりました。

今年度は現代生活学部設置元年ということもあり、従来の町田での開催に加え、千代田三番町（アルカディア市ヶ谷を含む）でも本格的なOCを開催し、計16回実施しました。

特に今年度は、来年度から現代家政学科と健康栄養学科が千代田三番町に移転することから、千代田三番町でのOCには多くの来場者をお迎えすることができました。（下記「OC来場者数」をご覧ください）また推薦入試などへの堅調な志願状況とも考え合わせると、本学発祥の地である市ヶ谷への移転に対する期待の大きさの現れかとも思われます。今後の活動により一層の力が入るとともに、本学にとっての正念場とも思われる今年を迎え、身の引き締まる思いです。

ＯＣ来場者数
町田：1,531名（昨年1,545名）前年比99％
千代田三番町：860名（昨年412名）前年比209％

△写真は遠藤智子さん、後ろ姿は、細渕先生（現児童学科）。

△熱心な議論がされました。

第12回就職懇談会が開催されました

平成22年10月19日（火）13時10分～15時30分に卒業生、4年生を講師に迎え、就職活動への取り組み、苦労話を通しての自己成長、職務経験など貴重なお話を語っていただきました。また、講演後の自由懇談会では、講師を囲み、活発な質疑が行われました。

「就活」という言葉が一般的な言葉として定着しており、学生は勉学の一端としてそれほど違和感なく会社訪問、面接、他の準備を行い行動に移していますが、自己PRが上手くできているか、会社の人がどのような印象を持ってくれるのか不安な気持ちを抱いての活動であることは否めません。社会人としての目線で語られる価値観、あるいは、内定を得た後の反省の弁など大いに励まされたようです。

遠藤智子さん（平成11年度卒）、横関希美さん（平成21年度卒）、吉川侑花さん（平成21年度卒）、4JA 窪川理沙さん、4JA 山田彩子さん、4JB 黒田雅友美さん、ありがとうございました。

企画・開催の労を執っていただいた細渕先生（現児童学科）に感謝致します。

本学の生産消費者（プロシューマー）教育が注目されています

10月2日（土）、秋葉原の富士ソフトアキバプラザにおいて、本学が開催したセミナー「大学における消費者教育を考える」には160名を超える参加者があり盛況でした。板東久美子氏（文部科学省生涯学習政策局長）による基調講演では、生産消費者（プロシューマー）教育への期待も述べられました。続いてのシンポジウムでは、松本明子氏（弁護士）が消費者教育を全大学の授業科目に導入しようと提案されるなど、西村隆男氏（横浜国立大教授、田渕英治氏（読売新聞社生活情報部）三名のパネリストが特色あるお話をされ、好評でした。

「情報と金融」「持続可能な食・農」「高校・大学連携」の3つのワークショップではキリンやドコモなどの企業や事業者団体にまじって、現代家政学科　消費者教育コース2年の10名の学生が発表しました。『江戸エコ行楽重』関連の資料が展示され、1年生の学生も多数見学しました。参加者からは「消費者のみでなく生産者視点も取り入れ考える生産消費者の育成の重要性が理解でき、今後も連携していきたい」との希望が寄せられました。

△文部科学省生涯学習政策局長
板東　久美子　氏による基調講演

平成22年度第47回ＫＶＡ祭

11月13日（土）、14日（日）の両日、第47回KVA祭が行われました。今回は両日とも晴れでしかも暖かい天候に恵まれましたが、来場者数は今一伸び悩み１４日のパンクブーブー等のお笑いライブの入場者も昨年より少ないようでした。本年度は「KVA４７　笑顔満開KASEI園」で華をテーマにいたるところに「華」を飾りました。また、今回急遽中庭ステージでのイベントの特別ゲストとして13日は菊田大輔さん・稲葉友さんがTBSドラマ「クローンベイビー」の番宣を、14日は映画「大奥」「BECK」に出演の超イケメン俳優の中村蒼さんがJTB「ガクタビ」トークショーを行い、お昼タイムとも重なり観客席が大いに膨れ上がり盛り上がりました。このほか光塩会バザー・ホームカミングルーム・生活文化博物館特別展・図書館特別コレクション大江文庫・中庭ステージでの発表・教室での学科展示・オープンキャンパス・中庭模擬店・ビンゴ大会等が行われました。

五年目を迎えたインターンシップの実績報告

今年度も多くの企業・機関（合計三十一社）の協力を得て、四十八名の三年次学生が夏休み期間中二週間の日程で一連のプログラムを完了しました。このパターンを基本としながらも昨年に引き続き、長期プロジェクト型のインターンシップにも取り組み、プログラムの充実を図りました。

現四年生の中には、インターンシップでの体験を踏まえて自分のキャリアを構想したり、就職活動計画に反映させたりする学生も現れ始め、インターンシッププログラムの成果が少しずつ広がりつつあります。ある四年生は、昨年度のインターンシップ経験を更に深化させる狙いで自ら動いて実習先を開拓し、その中小企業に積極的な取り組みが認められ、就職内定をいただくというケースもありました。

担当教員一同、長期的・多角的な成果を目指して、地道にかつ大胆にプログラムの拡充を図っていきたいと考えております。

平成 22 年度インターンシップ
成果報告会
（平成 22 年 10 月 29 日開催）

専修免許認定講習修了10名に

大学院では、平成19年度より毎年春と夏に、現職の教員が専修免許状（家庭）を取得することを目的として計10科目の免許法認定講習を開講してきました。平成22年3月に行った「生活文化史特論Ⅰ」（熊井教授担当）の認定講習では6名の受講者が、さらに同年8月には「生活経営学特論」（藤掛准教授担当）と「デザイン特論」（望月教授担当）の2科目の認定講習を修了し、4名の受講者が通算15単位以上を修得して、ついに一種免許状から専修免許状へ申請することが可能になりました。

次回は平成23年3月26日から「健康管理特論Ⅰ」を松田教授が担当して、千代田三番町キャンパスで実施する予定です。

釜山女子大学との交流プログラム実施

協定校である釜山女子大学の学生二十一名が、八月十七日から二十六日まで、東京家政学院大学に滞在しました。

一行は、セミナーハウスに宿泊しながら、日本語の授業や「韓国文化・日本文化」「日本のビジネス」「東アジアの染織と工芸」についての講義を受け、松花堂弁当と水ようかん作りにも挑戦。交流会では、地域の方も招待し、韓国料理を作って韓国文化の紹介もしました。

週末ごとにエクスカーションもありましたが、一番心に残ったとの声が高かったのは、大学の留学生十五名とともに参加した中相原町会の夏祭りです。全員浴衣を着て、地域の皆さんと山車を引くという得難い体験に全員が大喜びでした。

短い期間でしたが、日本語と日本文化、日本人との交流にたっぷり浸った思い出は、一生忘れられないとの感想が寄せられています。

中相原町会夏祭りにて

クリスマスイルミネーション

東京家政学院大学では、12 月 2 日に点灯式を行い、25 日まで飾りました。

大江文庫資料紹介 39

百人一首

東京家政学院大学附属図書館

百人一首というとお正月のカルタ取りをイメージする方も多いと思います。しかし、もともとは鎌倉時代に藤原定家が、それまでにまとめられていた勅撰集（天皇等の命により選者が編集した和歌集）から百人各一首を選び、色紙に認めたものと言われています。そしてその当時は「小倉山荘色紙和歌」などと呼ばれていたようです。それが後に「小倉百人一首」という本の形で著されました。

最初は歌道の入門書として教え伝えられており、その後は古典文学の代表的作品として研究され、多くの注釈書などが出版されました。一般の教養書としても百人一首は出版され、江戸時代中期には、女子用の古典入門書として、寺子屋の教材である往来物や様々な教養・教訓書を合冊した物に載るようになりました。大江文庫で所蔵しているほとんどの女子用教訓書にも百人一首が掲載されており、当時の教養としてどれだけ一般的だったのかがうかがい知れます。

また、この頃に歌カルタといわれる百人一首のカルタが流行したようで、江戸の風俗をまとめた資料にカルタ取りをしている図が掲載されています。こうして教養としてだけでなく娯楽としても、一般庶民にも広まっていったようです。

そのほか小倉百人一首の影響を受けて後世に作成された、小倉百人一首とは異なる和歌を載せた百人一首もあり、それは異種百人一首と呼ばれています。

資料のほとんどが下図のように歌人の肖像図と和歌が載っています。

大江文庫には江戸期に出版された「小倉百人一首」や往来物、異種百人一首などさまざまな資料があります。今回はその中の「小倉百人一首色紙箱」と「女要教訓智恵競」を紹介します。

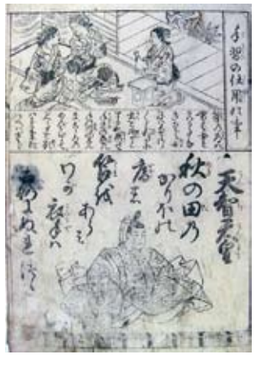
・小倉百人一首色紙箱
天保十年（一八三九）刊
女用文章や女今川と一緒に小倉百人一首が収録されている。

見返し口絵

上段　定家卿小倉山荘の図
下段　天智天皇の肖像図・歌

・女要教訓知恵競
斧麿編 西川祐信 画
延享三年（一七四六）刊
当時の著名な絵師である西川祐信が描いている。さまざまな教養・教訓と小倉百人一首が掲載されている。

表紙



上段　手習の仕用の事
下段　天智天皇の肖像図・歌

筑波学院大学
TSUKUBA GAKUIN UNIVERSITY

〒305-0031　茨城県つくば市吾妻 3-1
TEL：029-858-4811（代表）
FAX：029-858-7388
URL　http://www.tsukuba-g.ac.jp

ＫＶＡスタッフ集合写真

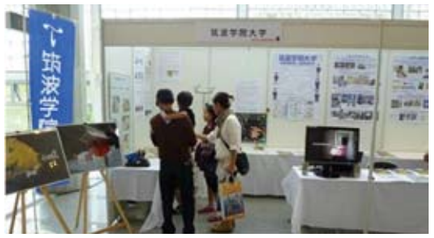
模擬店の様子

第20回ＫＶＡ祭開催

平成22年10月23・24日に第20回ＫＶＡ祭が開催されました。20周年を記念して、「20th アニバーサリー～永遠に残る思いを刻め～」と言うテーマを掲げ、来場者2000人以上を集めました。恒例となったお笑いライブ、つくば仮装コレクション2010や第5回ＫＶＡ杯ドッジボール大会をはじめとし、ゼミや授業の展示、多彩な模擬店など充実した内容で大いに盛り上がりました。

まつりつくば２０１０

筑波学院大学の「平成22年度まつりつくば」への参加は8月28日に行われ、学生、卒業生あわせて33人が元気一杯大通りで本学の踊りを披露しました。この踊りは、つくば市最大のイベントで本学をアピールしようというもので、今回で連続9回目。今年も学友会が中心になり、半年がかりで10日以上も練習してきた「東京ラブソディ」の曲に合わせ、約2000人の観客を前に見事な踊りを見せました。22年は大変な猛暑で本番の日も大変な暑さでしたが、参加者はそれにもめげず元気に踊りきりました。まつりつくばに学校単位で参加しているのは中学以上では筑波学院大学だけでその努力は高く評価されています。



第20回全国産業教育フェア茨城大会（さんフェア茨城２０１０）に出展

全国産業教育フェアは全国の専門課程を持つ高校の成果発表を目的に毎年開催されています。本年は10月16日、17日の両日、つくば国際会議場を主会場に茨城県内数箇所で開催されました。本学は大学紹介コーナーへの出展、競技主催者の要請による全国高等学校ロボット競技会およびいばらきジュニア技能五輪への運営スタッフの派遣と、総勢教職員6名、学生15名が参加しました。特にロボット競技会では、山島一浩准教授の指導で黒沢竜也君（情報メディア学科4年）が開発した「採点システム」が使用され、関係者から高い評価を受けました。

まつりつくば２０１０パレード

保護者会開催

筑波学院大学では、９月 25 日（土）に第８回保護者会を実施しました。保護者会は全学年の保護者を対象に行われ、全体会での学長挨拶、就職委員長の就職状況の説明、外部よりダイヤモンド社人材開発編集部副部長の間杉俊彦氏を招いての就職講演、その後担任との個別面談に移りました。間杉氏の講演は『就職に勝つ！わが子を失敗させない「会社選び」』という演題でお話があり、保護者から大変好評でした。また個別相談と同時にキャリア支援課では就職相談を受け付けました。大学での様子や就職への関心がとても高く、保護者会の充実が望まれているようです。

留学生文化研修旅行

毎年恒例の留学生文化研修旅行が11月27日（土）に行われ、留学生・日本人学生・教職員等25名が大洗磯前神社、那珂湊魚市場、石岡市のみかん農家を訪れました。大洗磯前神社では、宮司から神社の起源、際神、諸建物の説明を受け、留学生からも活発な質問がありました。元気な留学生は、神社への長い階段を走って登ったり、海辺にある鳥居の近くで散策を楽しみました。那珂湊市場では、新鮮なお魚中心の昼食の後、各自買い物をしました。帰りには、石岡市のみかん農家に寄り、みかん狩りを楽しみました。天気も暖かく穏やかで、何事にも積極的な留学生にとって、日本の文化や歴史の1面を知ることができ、楽しい有意義な研修旅行になりました。

大洗磯前神社にて
宮司から説明を受ける学生

厳しい環境の中での就職支援

就職相談の様子

最近報道されておりますように、来春卒業予定の大学の就職内定率が過去最低まで落ち込み就職活動は再び、『氷河期』に突入しました。

本学でも、就職活動する学生たちの多くがなかなか内定が得られず、卒業までもう月日の少ない今も、まだ何処かの企業の募集は無いのか等と相談に訪れます。厳しい経済環境下、数少ない求人に大勢の応募者が殺到し激しい選択競争となる中で受験する企業選びから書類審査の対象となる履歴書の記入内容のチェック・添削、面接試験対応・アドバイス等々一連に亘る採用プロセスを入念に指導し、企業の採用基準をクリア出来るレベルまで伸ばして採用試験に臨みます。

数値的には表面上厳しい内容ですが、一方雇用面のミスマッチ現象もあり、日本の産業構造が製造からサービス・福祉・医療分野への移行も観られ、特に近年、福祉の現場に興味を抱き就業する学生が増えつつあります。

秋季公開講座紹介

本学では地域に開かれた大学を目指し、学生以外の一般市民対象の公開講座を従来から継続し、内容を充実し進化させてきました。そしてこの春からは新たに「エクステンションセンター」の名称で講座のバラエティー・メニューを大幅に追加し、多方面の分野に興味・向学心を抱く、つくば市周辺住民の多くの方々から支持応援を頂き、来校される受講生の方の数も増えつつあります。

国際化・グローバル化が急激に進行する中で英語を初めとした外国語への習得意欲の高さが観られます。更に情報化社会での知的需要を満たす、コンピューター・情報処理の講座にも人気が集まっています。そして、歴史や地域文化に触れる教養講座には、豊かな心の糧を求める人達が集まり、普段の暮らし、身の廻りの生活を豊かにする『食』に係わる講座も多くの受講者を集めます。

つくば周辺地域、住民の皆さまへの知的サービス、教養・教育の場の提供として社会貢献を担い、支持の輪を広げつつあります。

第二回デザインコンテスト 2010

今年で二回目となる本学主催の「デザインコンテスト2」が開催されました。これは全国の高校生のみなさんからデザイン作品を募集し優秀作品を表彰するもので、本学の３年生を中心に企画・運営したものです。今年はテーマを「未来」とし、パソコン壁紙部門と携帯待受部門の二部門で募集を行なったところ、近隣だけでなく、北海道や大阪など全国から作品が寄せられました。学内審査によって入賞作品を選定し、KVA祭来場者による一般投票の結果も併せて上位賞が決定し、KVA祭にて表彰式が華やかに行なわれました。

デザインコンテスト運営スタッフ

東京家政学院中学校・高等学校

TOKYO KASEIGAKUIN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

〒102-8341
東京都千代田区三番町 22 番地
TEL.03-3262-2255（中学）
TEL.03-3262-2256（高校）
URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/chuko/
E-mail:koho@chuko.kasei-gakuin.ac.jp

文化祭　模擬店

文化祭報告

十月十日、十一日に常磐祭第二部　文化祭が行われました。

今年のテーマは「夢現」。みんなでひとりひとりの夢を現実にしよう、という意味をこめました。

今年は一号館改修工事のため、例年とは少し違った開催となりました。

正門の狭さをカバーするため、ウエルカムゲートを実行委員会が作りました。夏休みから準備をしてきた成果が実り、初日の雨にもめげず、二日間しっかりと来校者を迎えてくれました。また、講堂での舞台発表はアリーナ・サブアリーナでの開催。仮設ステージでの発表は生徒の情熱と元気で最高の舞台になりました。多くの文化系クラブが日頃の成果を存分に発揮しました。

常磐祭広場では恒例の模擬店が設けられ、全店完売となり、生徒たちの笑顔が弾けました。

校舎内では各学年の展示や有志参加が盛り上がりました。

そして最終日には文化祭大賞が発表され、常磐祭の幕が閉じました。

ご来場いただいた保護者・卒業生の皆さま、また、多くの場面で支えていただいた関係者の皆さまには大変感謝しております。ありがとうございました。

文化祭舞台発表

文化祭ゲート

文化祭展示

２０１１年度　東京家政学院中学校入試　募集要項（抜粋）

試験日	2月1日（火）		2月2日（水）		2月5日（土）
	午前	午後	午前	午後	午後
	一般	アドバンスト	一般	アドバンスト	アドバンスト
総合進学コース	５０名	４０名	１０名	－	－
特別進学コース	－	１０名	－	１０名	１０名
出願受付	窓口：１月２０日（木）～入試当日				
	郵送：１月２０日（木）～１月２６日（水）消印有効				

変わる中学入試

1．よりきめ細やかな指導を
　一クラス三十名の少人数制指導を徹底するために一学年4クラス編成を基本にしました。それによって、今回の入試から募集定員を一三〇名としました。

2．個性を大切にした学習を
　生徒ひとりひとりの個性を大切にするために中学コース制を導入しました。

○総合進学コース
　一人ひとりがきちんと理解できるよう、習熟度別授業を導入。確実に基礎を定着させることを目指します。

○特別進学コース
　先取り授業と七時間授業でスピードアップ。学習機会を多く設け、応用力アップを目指します。

3．誇りの持てる学校生活を
　学習の成果を形にすることで多くの可能性を掘り起こしたいと考えています。
入学試験において優秀な成績だった生徒には入学金や授業料の免除を積極的に行います。また、在学生に対しても同窓会あづま会のご協力によりあづま会奨学金制度が来年度より実施されます。

高大連携を深める高校入試

　来年度から大学が同じキャンパスに移転することで、高大七年一貫教育にも進路の視野を広げていきます。特に今年度の高校受験生は本大学を視野に入れた受験が例年よりも多いようです。

2010年度　東京家政学院中学校　受験生イベント

1　入試説明会（受験生対象）

２０１１年度入試に関する様々な情報を発信します

月日	開始時刻	内容	申し込み方法
５月２２日（土）	１４：００～	10年度入試報告	要予約
１１月　６日（土）	１４：００～	国・算　入試対策	要予約
１２月　４日（土）	１０：００～	過去入試問題対策	要予約
	１４：００～	過去入試問題対策	要予約
１月１５日（土）	１０：００～	入試直前対策	要予約
	１４：００～	入試直前対策	要予約

2　学校説明会

家政学院のスクールライフを発表します

月日	開始時刻	内容	申し込み方法
６月２７日（日）	１０：００～	体験教室	要予約
７月３１日（土）	１３：００～	ＫＶＡ講演会（保護者対象）	要予約
９月　５日（日）	１０：００～	体験教室	要予約
９月２２日（水）	１９：００～	夜の説明会（保護者対象）	要予約
１０月２０日（水）	１０：００～	授業公開	要予約

学習塾対象説明会　　６月１６日（水）１０：３０～１２：３０　私学会館にて

説明会一覧

以上のような説明会を本年度実施いたしました。多方面においてのご協力ありがとうございました。

2010年度　東京家政学院高等学校　受験生イベント

１　入試説明会（受験生対象）

２０１１年度入試に関する様々な情報を発信します。

月日	開始時刻	内容
8月28日（土）	１０：００～	オープンスクール 高校の授業とクラブを体験できます。
10月16日（土）	１４：００～	生徒による学校説明会 在校生が説明会を運営します。
11月27日（土）	１４：００～	入試直前対策 入試のポイントをわかりやすく解説します。

２　キャンパスツアー（中・高共通）

受験に関する疑問や学校生活に関する質問を個別にお答えします

1学期	2学期	入試直前　個別相談期間
５月２９日（土）	７月２４日（土）	１２月１日（水）～１月２９日（土） 〈１２月２９日から１月４日を除きます〉
５月３０日（日）	７月２５日（日）	
６月　５日（土）	９月２５日（土）	
６月１３日（日）	９月２６日（日）	
７月　３日（土）	１０月３１日（日）	
７月１０日（土）	１１月１３日（土）	
７月１１日（日）	１１月２０日（土）	

以上のイベントは全て予約が必要です。別チラシやＨＰでも紹介しています。都合の良い方法でお申し込みください。

３　学校行事

受験希望者は見学できます。予約不要

合唱祭　６月１１日（金）練馬文化センター
体育祭　９月　８日（水）東京体育館
文化祭　１０月１０日（日）１１日（月）

電話申し込み 03-3262-2559　FAX 03-3262-2223
http://www.kasei-gakuin.ac.jp/chuko/
東京家政学院高校　〒102－8341　東京都千代田区三番町２２
最寄り駅　　ＪＲ・市ヶ谷　　地下鉄・市ヶ谷・半蔵門・九段下

２０１１年度　東京家政学院高等学校入試　募集要項（抜粋）

試験種別	募集人員	出願期間	試験日		合格発表
推薦入試	40	１月18日（火）・19日（水）	単願推薦	１月２２日（土）	当日発表
			併願推薦	１月２２日（土）または２４日（月）	
一般入試	40	１月25日（火） ～　２月　７日（月）	２月１０日（木）		当日発表

社会のなかで

見えないお客様が安心してご旅行できるように

筑波学院大学卒　高橋麻美

私は、ＥＣＣ事業本部カンパニーの東京営業サポートセンターにて海外手配を担当しています。主な業務内容は海外団体旅行の航空券やホテル等の手配です。

最初は端末の操作や先輩が話している事が何一つ分からず、戸惑ってばかりでしたが、先輩が付きっ切りで一から仕事を教えてくださり、また、回りの先輩や上司の皆様も気にかけてくださるので、配属当初よりは少し仕事もこなせるようになりました。

現在は一人でツアーを担当するようになって2～3ヶ月が経ちますが、まだまだ勉強することがたくさんあります。私たちの仕事は直接お客様とやり取りをすることはありません。どんなことをお客様が望んでいるのかを知る為に、営業とのコミュニケーションをとることがとても大切です。戸惑うこともまだまだありますが、ツアーを円滑に進める為に、どのタイミングで手配を上げたらよいのか等を毎日考えながら仕事をしています。

最初は「何が分からないのか」が、分かりませんでした。けれど、今は何が分からないのか・何が自分にはできないのか、少し見えるようになってきました。

まだ、働きだしてほんの少しですが、基本をしっかり叩き込んで、知識と技術を磨いて、突然のイレギュラーにも冷静に対応できる手配になりたいです。

日々の業務を行っている
自分のデスクにて

プロフィール

高橋　麻美（たかはし　あさみ）
平成21年度　筑波学院大学　卒
平成22年　近畿日本ツーリスト株式会社ＥＣＣ事業本部カンパニー　東京営業サポートセンター　海外団体手配に配属
現在に至る

研究室紹介39

東京家政学院大学　建築構造学研究室

（金子雄太郎）

住居学科の中で最も工学部に近い研究室の一つです。

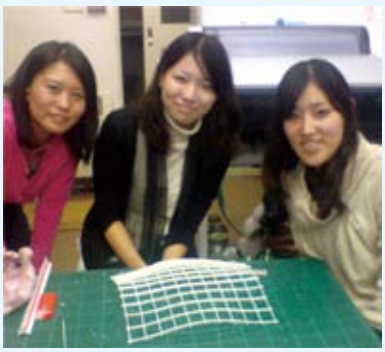
建物の強度と安全性について学部、大学院の講義・演習を行なう他、ＣＡＤ、ＣＡＥシステムを用いて研究・開発を進めています。構造力学は明らかに理数系の学問であり、工学部における構造研究室では工学技術者、研究者の養成を目的とすることとなりますが、住居学科では良好な生活環境を創造することを学び、それを実務に生かすことが主要な目的となります。安定した構造体についての理解を深めるとともに構造設計、耐震設計の勉学を通して構造体が醸し出す空間をイメージする事は、インテリア・デザインのトレーニングになるものと信じています。

卒業研究では、「構造の視覚化」をテーマとして、多くの成果が積み重ねられてきました。発端は、平板を変形させて曲面を求め、その屋根の下の空間をデザインしてみよう、というところから始まりました。最近では幾何学非線形を考慮した解析をもとに、膜面のたわみを加え、より多様な曲面を研究の対象としています。

写真①の大屋根はそのような検討が実を結んだ例です。写真②は、構造模型を手分けして作成しているところです。

＊）構造に関連した教科は、建築士受験資格（1級、2級）のための必須科目とされています。

①群馬県伊勢崎市
子供の森公園



②1/100 スケールモデル
の　作成